



荒川区国際交流協会

2011年10月7日発行

事務局だより 10月号

荒川区国際交流協会事務局

E-mail: bunka@city.arakawa.tokyo.jp

http://www.arakawa-kokusai.com

Tel 03-3802-3798 Fax 03-3802-4769



街路樹の葉も次第に色づいて、秋色も深まってまいりました。友好交流都市の大学は新学期を迎え、インターン生たちもそれぞれの思い出と経験を胸に帰国しました。9月号では、来区したインターン生の日本の印象をご紹介しましたが、10月号では、インターン体験談についてご紹介します。この体験談は、インターン生が一生懸命日本語で書いたものです。素晴らしい語学力だと思います。

ノラ・ベルリ・ヴァイネック (Nora Beryll Weinek) ウィーン大学



8月10日から9月10日まで、私は荒川区役所でインターンをやらせていただきました。そのインターンの内容は、荒川区役所、保育園、荒川ケーブルテレビなどの仕事を手伝うことでした。

今年の7月に区役所の方々がドナウシュタット区との交流15周年の記念事業で一週間ウィーンに来ていましたので、インターンが始まる前に会うことができました。私は荒川区の合唱隊のお世話をしました。だから日本に来た時は、あまり不安はなかったです。でも、日本に来たことはまだなかったので、どうなるのかと思いました。

一週間目は荒川区の方々と一緒にいろいろなところを見学しました。着いてすぐ早稲田大学と東京大学に行き、日本の大学生の生活について少し見ることができました。区役所のいろいろな部署を紹介していただいたり、江戸東京博物館に行ったり、浅草の周辺を歩いたりしました。日光は本当に素晴らしくて、感動しました。東京タワーやスカイツリーなどに行きました。キティーバスにも乗れて、本当に嬉しかったです。

次の週は東尾久保育園のところで研修を受けました。私は一人っ子なので、少し緊張していましたが、子供たちも、先生方もとても親切でした。本当にいい経験になりました。

その次の週は、ケーブルテレビで2日間インターンをやらせていただきました。ケーブルテレビの番組の作り方をみて、少し教えてもらいました。あら坊と一緒に写真をとってもらい、面白かったです。本当にすばらしい経験になり、いろいろと勉強させていただきました。心から感謝しています。いつかまた会えるといいです。



タマラ・ヒルシ (Tamara Hirsch) ウィーン大学

私は8月10日から9月9日まで荒川区役所でインターンシップをしました。

今回、日本に滞在するのは初めてだったので、最初にいろいろなことを心配し、緊張していました。しかし荒川区役所の職員の皆さんは親切で、思いやりのある人で、私たちを温かく迎えてくださいました。

一週目、私達は区役所の方にご案内いただき、東京と日光を観光しました。景色は少しチロル州に似ていてとてもいい感じで、私は日光が本当に気に入りました。特に滝のすばらしさは深く感動しました。

22日から保育園の研修を始めました。子供と遊ぶ経験が全然なかったので、子供といたいどうやって接すればよいかと心配しましたが、この一週間は楽しかったし、いい思い出になりました。活気にあふれていた子供たちを見たときに、私もなんとなく子供時代に引き戻されたような気がしました。私は保育園での研修に慣れてきてから、子供と遊んだり、本を読んだり、ドイツ語の子守唄とドイツ語の数を教えるを教えてあげたりしました。

その後、9月1日と2日、私達は荒川ケーブルテレビで職員の方の仕事を見学し、いろいろ教えていただきました。2日目は、取材で、大震災で、福島県、茨城県などから、荒川区内に避難してきた方々の話を聞きました。この避難者交流会は荒川ケーブルテレビの方によって撮影され、そして私達はフィルムを編集しました。

最後の週間、私達は主に受付の仕事を手伝ったり、翻訳したりしました。私達は区役所の各セクションにあまりくわしくなかったので、お客様をご案内できませんでしたが、その代わりに、挨拶して、駐車券の処理などの業務にたずさわりました。20分ごとに、私たちはいつも交替し、受付の仕事でない時は区役所のセクションをドイツ語と英語に翻訳しました。

セクションの名前に相当するドイツ語と英語の単語はないこともあったので、翻訳はちょっと難しかったのですが、私はいつか翻訳家になりたいと思っているので面白かったです。

この一ヶ月、私はいろいろ新しく、面白い経験をして、たくさん綺麗な場所を見てうれしく思っています。そして日本人の考え方も少しずつわかるようになってきたと思います。

ジョバン・ドウバル (Tamara Hirsch) オレゴン州立大学



このインターンシップで本当にいろんなことを経験しました。日本語をたくさん勉強したり、日本の栄養学とアメリカの栄養学を比較したり、新しい友達を作ったり、日本の生活について学びました。

熊野前保育園で1才から5才の子供達と一緒に遊んだり、給食を食べたり、英語の本や歌を紹介しました。保育園の子供達は私の名前が面白いと言いました。「ジョバン先生！常磐線！」と言って、喜びました。常磐線同じ名前でしたから、子供達が私の名前をすぐ覚えて、良かったです。もう一つ良かったことは英語の本を読んだことでした。『かいじゅうたちのいるところ』と『三びきのやぎがらがらどん』の本を読みました。はじめは、ちょっとドキドキしていましたが、子供達が私の英語の発音を聞いてとてもびっくりしたのでうれしくなりました。その後で子供達と英語の発音と単語の練習をしました。みんな、とても上手にできました。

私は大学で日本語の他に栄養学を勉強しています。熊野前保育園で栄養士さんと一緒に給食の話をした時に、日本とアメリカの栄養学の違いを検討しました。特に、食事のバランスガイドでした。日本の食事バランスガイドは、アメリカの「food guide pyramid」と言うガイドより果物が少なく、野菜が多くて、全粒粉が入りません。私はこのことにとっても興味を持ちました。

また、東京女子医大でもう一人の栄養士さんと話して、日本で栄養士になるための学校や病院の患者さんの食べ物とアレルギーの事を教えてもらえました。

最後の週には汐入小学校で、宮島則子先生に会い日本の給食の話をして、宮島先生の給食や栄養の教育の考え方を教えていただきました。宮島先生が書いた本をくださったので、私はとっても感動しました。

このインターンシップを通じて、主専攻の栄養学と副専攻の日本語を合わせて勉強することができました。日本で栄養の事を学んで、日本語を話す、書く、聞く練習をしました。このインターンシップで私は英語と日本語、そしてアメリカの社会と日本の社会などについて、貴重な経験を得られました。この経験を活かして、私は日本とアメリカの両方で栄養の分野で働くための機会を模索しています。

私は今回インターンシップで新しい興味を持ちました。それは子供に栄養や健康について教えることです。将来的に日本で子供に栄養学を教えるかも知れませんが、その時は日本語を使って、栄養のことを教えたいです。今回のインターンシップは本当に素晴らしい機会でした。



★事業予定★

□ 留学生に寄付する生活用品を募集します

区内にある4つの日本語学校とアジア学生文化協会学生寮では、10月に新入生を迎えます。留学生が日本で生活始めるにあたって、生活用品を必要としていますので、会員の皆さまやお知り合いのお宅で、ご寄付をいただける用品がありましたら、ご協力をお願いします。

- **募集用品** タオル、シーツ、石けん、傘、コップ、茶碗、ポット、炊飯器、掃除機など
※タオルなどの布製品は未使用のもの、食器・調理器具などは新品または新品同様のものをご提供ください。
- **物品受付期間・場所** 10月13日(木)～21日(金)に、お手数ですが事務局(区役所3階13番窓口)へお持ちください。

□ 外国人のための**無料**専門家相談会を開催します

毎日の生活の中で困っていること、聞きたいことの相談ができます。弁護士をはじめ、各分野の専門家が無料で相談に応じます。

- **日時** 11月6日(日曜日) 受付: 13:30～16:00
- **場所** 南千住駅前ふれあい館 荒川区南千住7-1-1 3階

★ 事業報告 ★

10月3日(月) 荒川区男女平等推進センターで華道教室を開催しました。赤門会日本語学校の生徒さんをはじめ、10名の外国人の方がご参加くださいました。ゆり、スプレー菊、カーネーション、オニソガラムを草月流の作法で花器に生けた後、花器代わりにペットボトルを加工して、アレンジ風に生け直しました。

講師の松岡はるみ先生からは、「心」を添えて、「心」を表現して生けるというお話がありました。受講生は、最初は、先生から生け方をまねて生けていましたが、アレンジ風に生けるときは、それぞれ思い思いに自分を表現しようとしていました。

今回は、平成24年1月30日(月)です。ご興味のある方は、ぜひ、ご参加ください。お待ちしております。



★ お知らせ ★

□ 賛助会費納入のお願い

国際交流協会は、民間の都市間交流事業支援だけでなく、区内の外国人の支援事業や、日本人住民の皆さんと外国人の皆さんの共生事業に力を注いで参りました。このような協会の事業を展開していくためには、皆さまからの賛助会費によるご支援が欠かせません。平成22年度においては皆様から93件、47万2千円の賛助会費を頂きました。今後とも、交流事業及び支援事業、共生事業を益々発展させて参りたいと思います。是非、皆様のご寄付をよろしくお願い致します。

なお、賛助会員の方で2年以上の会費のお振込みのない方については、会員名簿から削除させていただくことになっております。賛助会費は、11月30日までに郵便局へお振込みいただくか(振込方法は下記参照)、事務局にお持ちくださいますようお願いいたします。

《賛助会費》

◆個人会員 一□ 2,000円/年(何□でも可)

◆団体・法人会員 一□ 10,000円/年(何□でも可)

※【郵便振込】同封の「振込取扱票」を使用してください。手数料は国際交流協会が負担します。

※【銀行振込】下記の講座にお振込みください。手数料のご負担をお願いします。

□座名：みずほ銀行 三ノ輪支店 普通口座

□座番号：1573650 振込先：荒川区国際交流協会

「事務局だより」を e-mail で配信します！ ぜひ、ご利用ください！

下記のアドレスに「事務局だよりのメール配信希望」の旨、お知らせください。

なお、メール配信となった方には郵送しませんので、ご了承ください。

荒川区国際交流協会事務局 e-mail:bunka@city.arakawa.tokyo.jp